

2 (2) その他、鹿島市政全般について、ご意見・ご提言など

選択	回答内容	対応部署1	対応部署2	現状	対応策等
	空き家対策 倒壊の危険建造物の対処 害獣（あらいぐま、ハクビシン）の棲み処になっている	建設住宅課		令和4年度に市内全域を対象に空き家等実態調査を実施し、空き家の危険度などについて判定しています。倒壊の危険性が高い空き家については特定空き家等に認定し所有者等に対して助言・指導を行っていますが、所有者の死亡や相続放棄などの理由から管理者の特定が困難な空き家もあります。また、害獣については一様に空き家だからというわけではありませんが、捕獲等が必要となった場合は「箱罠」の貸与ができますのでご相談ください。	住民などからの空き家の相談については、案件ごとに対応を行ってまいります。また、空き家の適正管理、活用、解体の3本柱で支援を行ってまいります。
	デジタル化が進んでいることはすばらしい、しかし年配の人たち、苦手に思う人たちへのフォローが大切でしょう	DX推進室		【R5年度】 ・鹿島DX研究会と「誰一人取り残さない連携協定」を締結し、スマホ教室やセキュリティ対策講座を実施していただいています（地域との連携）。 【R6年度】 ・出前講座のメニューに「てのひら市役所（鹿島市LINE公式アカウント）の利用」を追加しており、依頼があればいつでも対応が可能です。 ・市民の方からのスマホの操作に関する相談対応や使い方を教える活動を行っていただく「さがデジタルサポーター（現在12名）」を養成する研修を8月に実施しており、その一環として、9～10月にスマホ相談会を計10回開催を予定しています。 ・連携協定を締結している鹿島DX研究会（一般社団法人鹿島デジタル社会推進協会）では、「おとなが学べるデジタル学校」を開校されており、スマホの使い方を学べる環境を設けられています。	・R5年度から進めている、鹿島DX研究会（地域）と連携しながらのスマホ教室など、引き続き取り組んでいきます。 ・出前講座や、さがデジタルサポーターによるスマホ相談会も継続して取り組んでいきます。
	有明沿岸道路白石～鹿島間の早期着工	建設住宅課		諸富IC～嘉瀬南IC間については、現在、国及び県において事業を進められているところで、開通予定については、示されておりません。 福富ICから鹿島間については、令和4年度、鹿島側の一部ルートが県より示され、詳細な設計に必要な調査や道路設計を進めていくと県から聞いています。	鹿島市としても沿線市町と協力・連携しながら、期成会での活動や市長会での要望など、あらゆる機会を捉えて、「佐賀福富道路」の全線早期供用、「福富鹿島道路」の全線早期着工を訴えているところです。
	放送設備が悪いのか、質問が聞き取りづらい	政策調整課			すべての会場でマイク設備を使用しておりましたが、空調の音などにより聞き取りにくい場合がありましたこととお詫びします。今後は音量調整などしたうえで参加者へ確認するなどし、改善を図りたいと思います。
	子どもを育てられるまちにしてほしい	政策調整課			ご指摘の子育て支援に関する施策は市の重点事項ととらえております。今後も引き続き全国の先進的な取り組みや市独自の新たな取り組みなどを研究・検討していきます。
	高齢者の足の確保（オンデマンドバスの導入） 給食費全額無償	広報企画課	教育総務課	市内では、路線バス、循環バス、高津原のりあいタクシー、予約型のりあいタクシーの公共交通を運行しています。 学校給食は学校給食法により食材費は保護者の負担と規定されていますが、様々な機会を捉えて給食費の無償化について国の責任において実施してもらうように要望を続けています。近年の物価高騰による食材費の上昇分に関しては国費や市費で補填し、現在の給食費の水準を維持するようにしています。	利用者アンケートや利用状況を見て、運行形態について検討していきます。 学校給食については、生活困窮の方には、就学援助制度についての紹介、申請を促すなどの対応を行っています。また、給食費の保護者負担の軽減については検討をしていきたいと考えます。
	人口減の対策、少子化の対策、お願いします	政策調整課			ご指摘の人口減少対策、少子化対策につきましては市の重要施策と考えており、今後も引き続き全国の先進的な取り組みや市独自の新たな取り組みなどを研究・検討していきます。
	企業誘致が少なすぎる	商工観光課		市内企業の人手不足が課題となるなか、工業団地を造成して企業を誘致することは、人材の確保や多額な造成費の負担など、多くの課題があります。まずは事務系オフィスの誘致に向け、サテライトオフィス誘致事業に取り組んでいるところです。令和6年度は1社と進出協定を締結しています。	ITやリモートワークの増加に伴い、事務系オフィスの需要は見込まれ、都市部からの交流人口の拡大や地域の活性化につながります。工業団地造成の課題を整理しながら、まずは事務系オフィスの誘致に向け、サテライトオフィス誘致に取り組んでいきます。
	今日の説明の内容（事業）が鹿島市にどうメリットがあるのかよくわからない。次第の裏面にメモ用紙を印刷した方が良い。全体的には良かった。	政策調整課			今後こうした機会の際には、ご指摘いただきました点を念頭に、引き続きわかりやすく簡潔な回答を心掛けたいと思います。また、次第の裏面に罫線を引くなどしてメモしやすくする点については、次回開催時の参考とさせていただきます。

2 (2) その他、鹿島市政全般について、ご意見・ご提言など

選択	回答内容	対応部署1	対応部署2	現状	対応策等
	企業誘致を第一に働きかけてほしい	商工観光課		市内企業の人手不足が課題となるなか、工業団地を造成して企業を誘致することは、人材の確保や多額な造成費の負担など、多くの課題があります。まずは事務系オフィスの誘致に向け、サテライトオフィス誘致事業に取り組んでいるところです。令和6年度は1社と進出協定を締結しています。	ITやリモートワークの増加に伴い、事務系オフィスの需要は見込まれ、都市部からの交流人口の拡大や地域の活性化につながります。工業団地造成の課題を整理しながら、まずは事務系オフィスの誘致に向け、サテライトオフィス誘致に取り組んでいきます。
	人口流出を減少するための施策を具体的に進めてもらいたい	政策調整課		人口流出を減少するための施策ですが、具体的なイメージとしては、進学・就職・結婚などで市外へ転出される数を減らす取り組みとなります。それらへの対策も、進学・就職・結婚先を本市に向けるための施策や、近隣市町へ通勤・通学しやすくする施策などと考えています。	ご指摘の人口流出を減少させる施策につきましては、市の重要施策の一つと考えていますが、その対策は非常に幅広いものとなっています。その中でどのような施策がより効果的なものか検討・見極めながら、今後も引き続き全国の先進的な取り組みや市独自の新たな取り組みなどを研究・検討してまいります。
	市職員の早期退職が増えていると聞きます。人材育成や組織の活性化のためにも、この傾向にしっかりとした対策をとり、安定的な雇用を守っていただきたいです	総務課		早期退職につきましては、それぞれ事情がある中での退職であり、一概に市役所が職場として問題があるという認識は持っていませんが、より働きやすい職場となるように努めていきます。	働きやすい職場づくりのために、以下の事項に取り組みします。 ・DX推進による職員の負担軽減 ・テレワーク制度の導入 ・カスタマーハラスメント対策の強化
	JRの便数の見直しをしていただきたい	広報企画課		利用者アンケート等を実施し、ダイヤ改正や乗り継ぎについてJRへ要望しています。	引き続き、JRへ要望をしていきます。
	人口の減少	政策調整課		人口流出を減少するための施策ですが、具体的なイメージとしては、進学・就職・結婚などで市外へ転出される数を減らす取り組みとなります。それらへの対策も、進学・就職・結婚先を本市に向けるための施策や、近隣市町へ通勤・通学しやすくする施策などと考えています。	ご指摘の人口流出を減少させる施策につきましては、市の重要施策の一つと考えていますが、その対策は非常に幅広いものとなっています。その中でどのような施策がより効果的なものか検討・見極めながら、今後も引き続き全国の先進的な取り組みや市独自の新たな取り組みなどを研究・検討してまいります。
	要望等については、まとめたものを作成して市民または地区にだしてください	政策調整課			語る会のなかでのご意見・ご要望や事後アンケートでのご意見・ご要望等につきましては、とりまとめたうえで市の意見を付加して市HPで掲載をします。
	国への要望、区民の声→市→県→国へと。農地水（山と海の会）事業について①補助金を減らされている、参加条件が高齢者や人手不足で難しくなる。②CO2や環境問題、緑地化等を考えて補助金を望みたい。	農林水産課		近年の農業は、過疎化や高齢化による担い手不足が進行し、農地の維持管理や水路、農道等の保全管理に対する担い手農家への負担増加が懸念されている状況です。 鹿島市内でも、荒廃農地の面積は年々増加しており、農地や農業用施設の維持、機能発揮を図るための共同活動に係る支援として交付される多面的機能支払交付金も減額となっている状況です。	(①②回答) 多面的機能支払交付金は、農地や農業用施設の維持や機能発揮を図るため、地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を後押ししています。 本交付金は、5年を1期とした活動計画書に位置付けられた農地面積（田、畑）に応じて補助金交付を受けています。 農地転用や荒廃農地等については、毎年の補助金交付申請時に活動計画の位置付けから除外が必要となり、計画外事業への活動が確認された場合についても交付金の返還対象となります。地区の厳しい現状については、説明会等を通じて、交付単価の改定や要件の緩和など県へ伝えていきますが、基本的には地域で守ってきた農用地や水路、農道等の地域資源を、将来にわたってどのように引き継いでいけばいいのか、地域（組織）で話し合っていたいただくことが必要となります。
	守る土地と開発すべき土地をスムーズに。R498の早期完成を	都市計画課		鹿島市都市計画において、住居系エリア、商業系エリア、工業系エリアなどに分け、市全体として無秩序な開発とならないよう方針付けをしています。その他、農地保全を基本としながら、207バイパス等の主要幹線道路沿線において現行法（農地法等）で可能なものは沿道サービス施設の立地を受けています。	国道498号整備の全体像が見えてきた際には、沿道土地の有効活用について検討が必要と認識しています。
	女性の参加者が見た限り2人、寂しい。少ない中意見をおっしゃったのは良かった。	政策調整課			今回計画した語る会の開催方法や開催時間などについて今後検証し、より女性や若い世代の市民が参加しやすい方法を模索し、開催したいと考えています。
	祐徳社もいろいろ取り組みをされていますが、門前全体で特産品を作ってみたら。どこでもそれぞれにお店によっての味の違いで特産品があるので。門前でもいろいろな問題があるみたいですが、市で取り組んで変えてほしい。（祐徳餅でもいいしなり寿司や…何か）	商工観光課		これまでも、祐徳門前商店街では、それぞれのお店が自慢の一品を「一店逸品」として売り出すなど、誘客のための工夫を凝らした取り組みをされています。また、2,000円以上の買い物や食事をされた方に500円分のクーポン券「祐徳門前お得一ぼん」をプレゼントする取り組みは、今年で3回目となります。	現在取り組んでいるサテライトオフィス誘致事業では、市内の事業所と連携し、地域の活性化に寄与していただける企業を誘致したいと考えています。そのなかで、特産品の掘り起こしや地場産品の高付加価値化などに進んでいけるよう進めていきます。
	行政の方も忙しいと思いますが年に一度の会をやってもらったらと思います	政策調整課		市内6地区での開催は一昨年度以来の開催となりましたが、昨年度はPTAの保護者との語る会を開催し、本年度も若い世代をターゲットにした会合に向く形での語る会を予定するなど、より多くの市民と語れるよう機会を見つけて計画しています。	今後も多くの機会を設けさせていただきさまざまなスタイルでの語る会を開催したいと考えています。

2 (2) その他、鹿島市政全般について、ご意見・ご提言など

選択	回答内容	対応部署1	対応部署2	現状	対応策等
	雇用が大きい企業誘致をして若者が流出しないよう策を練って	商工観光課		市内企業の人手不足が課題となるなか、工業団地を造成して企業を誘致することは、人材の確保や多額な造成費の負担など、多くの課題があります。まずは事務系オフィスの誘致に向け、サテライトオフィス誘致事業に取り組んでいるところです。令和6年度は1社と進出協定を締結しています。	ITやリモートワークの増加に伴い、事務系オフィスの需要は見込まれ、都市部からの交流人口の拡大や地域の活性化につながります。また、若者の職業選択の幅が広がることも期待できます。工業団地造成の課題を整理しながら、まずは事務系オフィスの誘致に向け、サテライトオフィス誘致に取り組んでいきます。
	後日談として、女性の方と話をしていたら、夏場の19時開会は女性には参加できない。女性がやすい時間帯に実施してもらい女性だけとの意見交換会を実施していただきたいとのことでした。	政策調整課			今後も多くの機会を設けさせていただきさまざまなスタイルでの語る会を開催したいと考えています。
	健康になるための施策を取り組んで欲しい。健康事業など高齢者の医療費が全国的にもワースト10位に入っているため、高齢者の方の健康はもちろん、若い世代からの教育が必要だと思う。	保険健康課		健康づくり事業、介護予防事業の実施、高齢者への定期的訪問による状況把握や、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業の実施、特定健診、後期高齢者健診や各種健診への受診勧奨、保健指導の実施に取り組んでいます。	高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業により、低栄養防止・糖尿病重症化予防・健康状態不明者等で支援が必要な方を訪問して健康状態を確認する。また、健診受診勧奨や健康に関する講話、体操等の健康づくり事業の実施、定期的な訪問による状況把握や介護予防事業に取り組めます。若い世代に対しては、各種検診や特定健診を受診勧奨し、保健指導を実施するなど若い世代からの健康づくりに取り組んでいきます。
	浜駅のように人が自由に集まれるような鹿島駅にしてほしい。	都市計画課		肥前浜駅には、HAMABARIに訪れる人、観光案内で訪れる人、イベントで訪れる人のほか、中学生が電車待ちで勉強やおしゃべりをしたり、地域の人がふらっと訪れたりされているかと思います。肥前鹿島駅もそのような姿（日常でも充実した姿）が理想的だと感じています。	市の受け持つ駅前広場整備において、広場をどのように使っていくか、ヒアリングやワークショップを通して市民の皆様の意見を確認し、整備に反映していきたいと思っています。また、観光客だけでなく、日常的に利用する通勤通学者の利便性、鉄道利用目的でない人でも自由に利用できる広場を目標に、設計を進めていきます。
	人材の確保、定着が最も重要だと思われます。最重要課題です。	政策調整課		人口流出を減少するための施策ですが、具体的なイメージとしては、進学・就職・結婚などで市外へ転出される数を減らす取り組みとなります。それらへの対策も、進学・就職・結婚先を本市に向けるための施策や、近隣市町へ通勤・通学しやすくする施策などと考えています。	ご指摘の人口流出を減少させる施策につきましては、市の重要施策の一つと考えていますが、その対策は非常に幅広いものとなっています。その中でどのような施策がより効果的なものか検討・見極めながら、今後も引き続き全国の先進的な取り組みや市独自の新たな取り組みなどを研究・検討していきます。
	さまざまな行政説明の機会に担当者の方に鹿島市の実情をお尋ねしてもその場で回答されないことがある。現状把握が施策のスタートと思うので、課題も把握されていないのではと不安・心配になることがよくある。適した対策が行われるのかと。	政策調整課			具体的な状況について承知しておりませんので正確な回答は申し上げられませんが、今後も説明会などでの開催にあたっての準備などについては万全を期すよう周知するとともに、適切な対応に心掛けていきます。
	とにかく、人口減少の歯止め	政策調整課		人口流出を減少するための施策ですが、具体的なイメージとしては、進学・就職・結婚などで市外へ転出される数を減らす取り組みとなります。それらへの対策も、進学・就職・結婚先を本市に向けるための施策や、近隣市町へ通勤・通学しやすくする施策などと考えています。	ご指摘の人口流出を減少させる施策につきましては、市の重要施策の一つと考えていますが、その対策は非常に幅広いものとなっています。その中でどのような施策がより効果的なものか検討・見極めながら、今後も引き続き全国の先進的な取り組みや市独自の新たな取り組みなどを研究・検討していきます。
	前回も含め、市政報告会があり、意見、要望等ありました。これに対し1年に1回ではなく、途中報告等を含め、市報等で少しずつでも記載してお知らせください。（又は、議会報告も各戸配布あり、これに記載も良いのでは？）※空き家対策、休耕田又は畑の有効活用の中で、これを一体化して、数件のモデルをつくり、全国にアピールする。特に芸能人の方々を呼び込み（アプローチをして）継続して紹介できる仕組みづくりを！海・平地・山間部まで恵まれ水も大変美味しい。これを利用できないか？	政策調整課			語る会のなかでのご意見・ご要望や事後アンケートのご意見・ご要望等につきましては、とりまとめたうえで市の意見を付加して市HPで掲載をします。
	財政について、再建してほしい。イベントの廃止もやむを得ないと考えます。情報発信を強く要望します。国とのパイプを強くして、国からの支援をもっと受けるように要望します。8時30分ぎりぎりに出動する職員を多く見受けられます。高い倫理観を持って臨んでほしいと思います。	財政課	総務課	本市の規定では勤務時間は午前8時30分から午後5時15分と規定しており、8時30分間際に出動しても業務に支障がなければ問題ないものと考えています。繰り返し遅刻した場合は倫理観が低いと考えられますが、規定を遵守している職員の倫理観が低いとは考えていません。なお、8時30分以前に登庁するように指導した場合、早く来た時間は時間外勤務としなければならなくなることも考えられます。	行財政運営プランにより、歳入確保対策の強化、安定的な財政運営、健全な財政運営などに取り組んでいます。予算編成方針においても、国県の補助事業などの情報収集については積極的に行い、財源確保に努めることとしています。職員の出勤時間に関しては、特段の対応は考えていません。
	軽車両の納付書の送付が他の役所より遅い。市長と語る会の参加者が少ない。	税務課	政策調整課	軽車両の納付書発送日は県内10市と比較し、特に遅くはない状況です。令和6年度 5月1日発送、5月31日納期限	対応は不要と考えますが、引き続き他自治体の発送状況を確認しながら遅れることのないよう事務処理を行います。今回計画した語る会の開催方法や開催時間などについて今後検証し、より多くの市民が参加しやすい方法を模索し、開催したいと考えています。
	財政が心配です。知恵を出し合って行っていく。若い方が参加できる工夫が必要かなと思います。SNSの活用などできないか。	財政課			「若手職員による作業チーム（仮称）」の創設などによる取り組みを行います。

2 (2) その他、鹿島市政全般について、ご意見・ご提言など

選択	回答内容	対応部署1	対応部署2	現状	対応策等
	ゼロカーボン取り組みについて、太陽光発電導入するのは良いけど、太陽光パネルの最終の産廃物として対処ができていないのか？(国の方針としては)グリーンカーボン、ブルーカーボン(第1次産業)のさらなる取り組みを！	ゼロカーボン推進室		経産省・環境省の指導のもと廃棄の対処はできています。グリーンカーボン・ブルーカーボンについては、令和2年度から検討をしているが、今の制度では鹿島市での実施は難しい状況です。	鹿島市の森林について、令和6年度調査を実施します。Jクレジット導入について、さらに協議を進めます。
	市議員さんも、自分の地区の意見を聞き集約するような活動を！	議会事務局		議員それぞれの判断で地区の意見を聞き集約するような活動を行っています。	市長と語る会で今回のような意見があったことを全議員へ周知します。
	市役所職員に窓口の人にアイデア募集とかあつてますかと聞いてもないといわれます。ぜひやってほしいです。	政策調整課		市民政策提案は現在募集していませんが、市HPのWEB提案箱などを利用いただき直接アイデアを提案いただいています。	市民の皆さんからのアイデアを受け付けている取り組みなど、今後積極的に周知していきます。
	長崎本線の本数が減る中、駅前広場をどのように活用するか、今後の計画に関心があります。活用方法次第で街の活性化に影響してくると思います。駅を利用する人だけが広場を利用するというところにとまらないように、計画してほしいと思います。	都市計画課		長崎本線の本数が減便になっているとはいえ、電車通学者は大きな減少もなく、必要とされるインフラという位置づけは変わっていません。そのため、第一に安全性が確保できる整備を行いたいと考えています。	ご指摘のとおり鉄道利用者は減少傾向に向かいますので、安全性を確保したうえで、鉄道利用以外の人も自由に利用できるような広場になるよう、計画していきたいと考えています。
	子育て世代でもあり、教育に様々な面で関わっています。子どもたちの体験、経験不足、遊び不足は、大人が作ってきた、若しくは削除してきた環境の結果だと思います。人口減少や若者が離れて行ってしまふことへの対策としても、子どもたちが育つ場、親が学んだり、安心して話せる場づくりが必要なのではないかと思ひます。	政策調整課			子育て世帯の皆さんの生の声を市政へ反映させていくことが、子育て支援への第一歩ととらえています。今後とも皆さんと意見交換できる場を企画・検討していきます。
	若い人が集う、行動できる施設がほしい。金を使ってもOK	政策調整課			これからを担う若い世代のチカラの結集や行動力は重要なものととらえています。今後若い世代へのアンテナを張った施策を検討していきます。
	私は鹿島高校に勤務していますが、鹿島市の唯一の高校として、様々な機会に高校生と協働していただいて感謝しています。子どもたちは、実は鹿島のこと大好きで、将来の鹿島のことを真剣に考えています。市長さんにも、また職員さんにも講演や協働していただいて子どもたちは一層鹿島のことを学び、考え、行動できるようになっています。これからも鹿島市全体で子どもたちを育ててほしいと願っています。よろしくお願ひします。	政策調整課			鹿島高校の取り組みに敬意を表すとともに、今後も最大限の協力をお約束します。
	もっと意見交換の時間が欲しかった。ゼロカーボンの取り組みをされていますが、EVスタンドが少ない。財政が厳しいとは思いますが、家庭に整備する補助はないのか？	政策調整課	ゼロカーボン推進室	民間の費用ゼロのEVスタンドについては、検討を進めています。EVスタンドの補助はないが、ソーラーカーポートの設置補助を10月から実施します。	意見交換の時間が不足し、発言を希望された参加者へ時間を設けられないこともありましたこととお詫びします。6地区での市長と語る会は終了しましたが、今後もさまざまな機会でご意見をお伺いする機会を企画・検討しています。EVスタンドについては、国の補助金等を活用できないか検討します。
	人口減、日本中とめられない。鹿島だけ人口増とかありえない。17,000人になったときに機能的 都市計画、税の有効活用	政策調整課			ご指摘のとおり人口減少社会への取り組み方については、減少したときの将来像を見据えながら計画することが肝要と考えています。
	語る会には、参加者は高齢層の人が多く、意見や提案も昔気質な考えを押し付けるようなイメージ。もっと若年層の参加を呼び込み、斬新な意見で新しい考えや市政に新しい風を吹き込んで欲しいと思ひました。	政策調整課			今回計画した語る会の開催方法や開催時間などについて今後検証し、より若い世代の市民が参加しやすい方法や雰囲気づくりを模索し、開催したいと考えています。